



取扱説明書

LG LED モニター

設置とご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。お読みになったあとは大切に保管してください。

LAEC015-GY2

www.lg.com/jp

Copyright © 2023 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

目次

| | |
|----------------------|----|
| 安全上のご注意 | 3 |
| - AC アダプターと電源に関するご注意 | 4 |
| - 本製品を移動する際の注意 | 6 |
| - 本製品設置の際の注意 | 7 |
| - 製品のお手入れに関する注意事項 | 9 |
| - 本製品使用の際の注意 | 10 |
| - リモコンを使用するときの注意事項 | 12 |
| - 残像が発生するときの注意事項 | 13 |
| - 本製品の廃棄 | 13 |
| 準備 | 14 |
| - 開梱 | 14 |
| - 接続に関する設定について | 17 |
| - リモコン | 18 |
| - オプション部品 | 19 |
| 構造 | 20 |
| - 一般 | 20 |
| - 全体の構造 | 20 |
| - 機械的構造 | 23 |
| - 設置手順 | 25 |
| - 電気系統 | 40 |
| - 電源ケーブルの配線 | 43 |
| 接続 | 44 |
| トラブルシューティング | 47 |
| 製品仕様 | 52 |
| ライセンス | 56 |
| 保証とアフターサービス | 57 |

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

予期しない危険や製品の不具合が発生しないよう、本製品を正しく、安全にご使用いただくことを目的としています。

警告

警告に従わない場合、重大な負傷もしくは死亡するおそれや、重大な事故が発生するおそれがあります。

注意

注意に従わない場合、負傷したり、製品が破損するおそれがあります。

警告

本製品は屋外には設置できません。本製品は屋外には設置できません。設置業者が設置して、でのみ使用してください。

AC アダプターと電源に関するご注意

警告

- 電源コードや AC アダプターは、必ず LG Electronics, Inc. が提供または認定したものを使用してください。付属品以外の電源コードを使用する場合は、法律、法令の基準を満たしているかご確認ください。電源コードに何らかの異常が見られる場合は、速やかに使用を中止して、カスタマーセンターにご相談ください。
- 製品仕様に記載される定格電力に合致するコンセントに接続してください。
 - 本製品の故障、火災、感電につながるおそれがあります。接続するコンセントの定格電力が不明の場合は、設置業者または、販売元にご相談ください。
- 電源コードは必ずアース付きコンセントに接続してください。
 - 感電、負傷、本製品の破損につながるおそれがあります。
- 電源プラグまたは AC アダプターが緩まないように、根元までしっかりと挿入してください。
 - 接続が不完全な場合、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 落雷時は電源コードや信号ケーブルに触れないでください。
 - 感電するおそれがあり、非常に危険です。
- 電源コードや AC アダプターの上に乗ったり、重いもの（家電製品、衣類など）を載せたりしないでください。また、電源コードまたは AC アダプターを曲げたり、過度の力で引き抜いたりしないでください。
 - 電源コードの破損、断線により、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 傷の入った電源コードまたは AC アダプターをコンセントに接続しないでください。
 - 火災や感電のおそれがあります。
- 電源コードの一端がコンセントに接続されているとき、電気を通しやすいもの（クリップなどの金属製品）でもう一端に触れないでください。また、電源コードを取り外した直後に触れないでください。
 - 火災や感電のおそれがあります。
- マルチタップを使用する場合は、電気製品を多数接続しないでください。また、消費電力の大きな製品（電熱器や電気ストーブなど）を同じタップに接続しないでください。アース端子のある専用のマルチタップコンセントを使用してください。
 - 異常発熱により火災が発生するおそれがあります。

- ・本製品の内部に水分や異物が混入した場合、すみやかに電源コードを抜いてカスタマーセンターにご相談ください。
 - 本製品が損傷し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・電源コードまたは AC アダプターを加熱装置から離してください。
 - コードの被膜が溶けて、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・電源コードや AC アダプターを分解、修理、改造しないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・主電源遮断装置は電源コードであり、いつでも抜き差しできるコンセントの近くに本製品を設置してください。
- ・本装置が AC コンセントに接続されている限り、装置の電源を切っても、AC 電源からは切断されません。
- ・電源プラグを外した場合のみ、消費電力が「0（ゼロ）」になります。
- ・断路装置として、電源接続器を使用してください。
- ・火災の危険から常に保護できるよう、ヒューズの交換時は必ず同一のタイプと定格のものを使用してください。

注意

- ・コンセント、電源プラグのピン、AC アダプターにほこりや異物が付着している場合は、拭き取り、清潔な状態で使用してください。
 - 付着物が過熱して、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・コンセント、電源プラグのピン、AC アダプターに水がかかった場合は、拭き取り、清潔な状態で使用してください。また、濡れた手で電源プラグや AC アダプターに触れないでください。
 - 感電するおそれがあり、非常に危険です。
- ・電源コードの抜き差しで電源のオン、オフをしないでください。電源プラグをスイッチ代わりに使用しないことを意味します。
 - 感電や製品の誤作動の原因となるおそれがあります。
- ・本製品の使用中にコンセントから電源コードを抜かないでください。
 - 感電によって製品が故障するおそれがあります。

本製品を移動する際の注意

警告

- 本製品を移動する際は、お求めになった販売代理店または弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 感電や製品の破損の原因となるおそれがあります。
- 本製品を移動する前に、電源がオフになっていること、電源コードとその他すべてのケーブルが取り外してあることを確認してください。
 - 本製品の破損や、負傷につながるおそれがあります。
- 本製品を移動するときは、製品に衝撃を与えたり、製品のフロントパネルに衝撃を与えないでください。
 - 本製品の破損や、負傷につながるおそれがあります。
- 重量に合わせた人数で作業してください。（100kg を超える場合は吊り上げ機器を使用して運んでください）
 - 本製品が破損した場合は、カスタマーセンターにご相談ください。感電や火災のおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- スタンドだけを持って製品を逆さまにしないでください。（スタンド対応モデルの場合のみ。）
 - 落下によって、製品の破損の原因になります。また、負傷するおそれがあります。

注意

- 本製品の輸送時は破損を防ぐため、本製品の梱包箱や緩衝材を使用することをお勧めします。製品をこの箱に入れて、持ち運ぶことができます。

本製品設置の際の注意

警告

- ・本製品の設置については、販売代理店またはカスタマーセンターまでご相談ください。
 - 感電や製品の損傷の原因となるおそれがあります。
- ・本製品の上に物を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。本製品をお子様の手の届かないところに保管してください、また、画面に物が投げられないよう、本製品の近くにおもちゃや物を置かないでください。
 - 本製品の破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- ・重い物を本製品の上に置いたり、ぶら下がるなど荷重をかけないようにしてください。
 - 本製品が倒れたり、落下により負傷したりするおそれがあります。
- ・製品が過熱した状態の場合は、本製品に触れないでください。
 - 火傷につながるおそれがあります。
- ・風や地震など外部からの衝撃に耐えられるよう、壁や床などへの設置はしっかりと動かないようにしてください。
 - 本マニュアルを必ず参照してください。
- ・お子様が本製品に登ったり、ぶら下がるなど荷重をかけないように指導してください。
 - 本製品が倒れたり、落下により負傷したりするおそれがあります。
- ・電気ヒーターまたは照明器具など発熱する物の近くに設置しないでください。
 - 火災、感電、誤動作の原因となるおそれがあります。
- ・本製品をご自身で設置しないでください。本製品の破損を招いたり、負傷につながるおそれがあります。カスタマーセンターまたはお求めになった販売代理店にご相談ください。
- ・油類や油煙にさらされる可能性のある壁に、本製品を設置しないでください。
 - 本製品の損傷または故障の原因になる可能性があります。
- ・人が通る場所に電源コードや信号ケーブルを放置しないでください。
 - 人がつまずいたり転倒により負傷するおそれがあります。また、感電、火災、本製品の故障の原因となるおそれがあります。
- ・接続するケーブルは短いものを使用しないでください。
 - 本製品が倒れたり落下によって、破損やケガにつながるおそれがあります。
- ・本製品が落下したり筐体が破損した場合は、すみやかに電源をオフにして、コンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま使用すると、感電や火災の原因となるおそれがあります。
- ・本製品はほこりや水分のない乾燥した場所に設置してください。高温多湿な場所には設置しないでください。
 - 感電、火災、本製品の損傷の原因となるおそれがあります。
- ・本製品の重量に十分耐えられる安全な場所に設置してください。
 - 強度が不足すると製品が落下するおそれがあります。
- ・本製品で作業するときは、筋肉が緊張しないよう、快適で自然な姿勢を維持してください。
- ・LEDを静電気による破損から保護するよう、配慮してください。本製品に触れる際は必ず帯電防止手袋を着用してください。
- ・ケーブルを本製品の下部にある電源入力/電源出力へ接続する場合、感電の危険があります。電源コードは必ず外してくだ

 **注意**

- 本製品は電磁干渉のない場所に設置してください。
- 推奨される条件を満たさない場所に本製品を設置すると、画質、寿命、および外観に深刻な影響が出るおそれがあります。設置する前に、お求めの販売代理店またはカスタマーセンターにご相談ください。ほこりの多い場所、油煙が発生する場所、化学物質のある場所、直射日光が当たる場所、温度が極端に高いまたは低い場所、湿度が高い場所には設置しないでください。
- 壁に設置する場合は、十分な距離離して、通気性を確保してください。
 - 壁との距離が近すぎると、内部温度が上昇して、本製品の変形や故障、火災につながるおそれがあります。
- 本製品を設置する際、カーテンやテーブルクロス、またはその他の素材（プラスチックなど）が通気口を塞がないよう注意してください。
 - 内部温度の上昇により、変形したり火災につながるおそれがあります。
- 通気性の悪い場所（本棚、クローゼットなど）や屋外に本製品を設置しないでください。クッションやカーペットの上に設置しないでください。
 - 内部温度の上昇により、製品が発火するおそれがあります。
- 本製品の荷重に耐えられる平らで安定した場所に設置してください。
 - 本製品の落下により、本製品の破損やケガを負うおそれがあります。
- 棚またはキャビネット上に本製品を設置するときは、製品の下端が前方に突き出していないことを確認してください。
 - 重心が不安定になることにより本製品が落下し、負傷または製品の損傷につながるおそれがあります。必ず製品に合うキャビネットや棚を使用してください。

製品のお手入れに関する注意事項

警告

- ・本製品は常に清潔な状態を保ってください。
 - 本製品を長期間お手入れしないと、製品にほこりや異物が付着し、火災または製品の損傷につながるおそれがあります。
- ・製品内部のメンテナンスについては、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま使用すると、火災、感電、製品の損傷のおそれがあります。
- ・本製品をお手入れする場合は、コンセントから電源コードを抜いて、傷をつけないように柔らかい布で拭いてください。
 - 傷がつくと、感電または画面の損傷につながるおそれがあります。
- ・LED パッケージの画面に物理的に触れないでください。
 - 本製品が破損するおそれがあります。
- ・製品を掃除する場合は、掃除用エアガンを使用してフロントフレームと画面のほこりを軽く取り除いてください。
 - 画面の LED の間に異物があると、画面不良の原因となります。

注意

- ・製品または画面のお手入れは、コンセントから電源コードを抜いて、柔らかい布で拭いてください。水や洗浄液などの液体を直接本製品にかけないでください。特に、ガラスクリーナー、消臭スプレー、殺虫剤、潤滑剤、ワックス（車、工業用）、研磨剤、揮発性溶剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）は使用しないでください。本製品またはパネルを損傷する可能性があります。
 - 火災、感電、本製品のパネルまたは筐体の損傷（変形、腐食、破損）の原因となるおそれがあります。

本製品使用の際の注意

警告

- 温度や湿度が非常に高い環境で使用しないでください。
- 画面を長時間見るときは、定期的に休憩をとってください。
 - 長時間画面を見続けると眼精疲労や肩こり、視力の低下につながるおそれがあります。
- 音声を大音量または長時間出力し続けると聴力に影響を及ぼすおそれがあります。
- 本製品に液体がかかったり異物が混入した場合は、速やかに電源をオフにして電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - コンセントから抜いた時の火花によって引火し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 画面に画像が表示されない場合や音が聞こえない場合は、製品の使用を中止してください。直ちに製品の電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターに連絡してください。
 - コンセントから抜いた時の火花によって引火し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。
 - パネルの破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- 本製品から煙、異臭や異音が発生した場合は、速やかにコンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま製品を使用し続けると、感電または火災につながるおそれがあります。
- ご自身で本製品を分解、修理、改造しないでください。改造や分解による故障は保証の対象外になります。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品の上または近くに液体の入った容器や水分を含んだものを置かないでください。
 - 内部に液体が混入すると、発火、感電、誤作動、または変形するおそれがあります。
- 手や爪、鉛筆、ペンなどの鋭利なもので製品の表面を強く押しついたり引っかいたりしないでください。金属類でパネルの前面や側面に衝撃を与えたり引っかいたりしないでください。
 - 本製品の損傷または誤動作の原因になる可能性があります。
- 本製品が直射日光または強い光に曝された場合、過熱する可能性がありますので、製品に触れないでください。

- ・本製品の近くで高電圧電気製品（殺虫灯など）を使用しないでください。
 - 電気の衝撃によって、本製品が誤動作する可能性があります。
- ・ガス漏れがある場合は、コンセントに触れずに、窓を開けて換気してください。
 - コンセントから抜いた時の火花によって引火し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・本製品に強い衝撃を与えたり、筐体が破損したりした場合は、本製品の使用を中止し、速やかに電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま使用すると、感電や火災の原因となるおそれがあります。製品の使用を中止して、カスタマーセンターにご相談ください。
- ・付属品等小さなパーツはお子様の手の届かない場所に保管してください。
 - 子供が飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。
- ・お子様の手の届かないところに本製品を保管してください。また、おもちゃや物を製品または画面に投げつけないでください。
 - パネルの破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- ・本製品を完全にオフにするには、電源コードを抜く必要があります。装置からすべての電源を取り除くには、電源コードを取り外し、すべての電源を切断する必要があります。

注意

- ・液晶パネルまたは有機 EL パネルは、数百万ピクセルの高精度な製品です。画面の一部にドット抜け（ごく小さな白、黒、赤、青、緑などの点）が見えることがあります。これは製品上の特性であり、製品不良、故障ではありません。
- ・本製品の近くに引火性の物質を置いたり、保管したりしないでください。
 - 爆発または火災が発生するおそれがあります。
- ・画面を見るときは適切な距離を維持してください。
 - 本製品を近くで見すぎると、視力が低下するおそれがあります。
- ・製品の適切な解像度と周波数に設定してください。
 - 視力が低下するおそれがあります。
- ・長時間画面を見続ける場合は、定期的に休憩をとってください。

リモコンを使用するときの注意事項

警告

- 湿度の高い場所を避けてください。
 - 本製品の故障や、感電につながるおそれがあります。
- 直射日光、暖炉、電気ヒーターなどの暖房機器の近くなど、高温になる場所の近くに電池を保管、放置しないでください。
 - 火災または負傷につながるおそれがあります。
- リモコンの電池交換時に、子供が電池を飲み込まないようにお気をつけください。電池は子供の手の届かない場所に保管してください。
 - 子供が電池を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池を火の中に廃棄しないでください。
 - 最寄りのリサイクルセンターまたは電池を取り扱う小売店に電池を廃棄してください。
- 充電式電池を含む使用済電池は、ごみとは別にリサイクルしてください。
 - 最寄りのリサイクルセンターまたは電池を取り扱う小売店に使用済電池や充電式電池を廃棄してください。

注意

- 電池を短絡させたり、分解したりしないでください。
 - 感電または火災の原因となるおそれがあります。
- リモコンは、直射日光や強い光が当たる場所では正常に機能しない場合があります。強い光の当たる状況下で使用する場合は、製品の位置を調整してください。
- 本製品とリモコンの間に障害物がないことを確認してください。
- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。
 - 電池の過熱や液漏れにより、火災や感電のおそれがあります。
- 電池は指定されたタイプのものを使用してください。充電式ではない電池を充電器に入れないでください。
 - 電池の過熱や液漏れにより、火災や感電のおそれがあります。

残像が発生するときの注意事項

- ・ 静止画を長時間表示したままにしておくと、画面が焼き付き、残像が発生する場合があります。これは、液晶パネルまたは有機 EL パネルの特性であり、焼き付きについては保証の対象外となります。焼き付きが起らないよう、静止画を長時間表示させないでください。
- スクリーンセーバーを使用するなど、定期的に違う映像を表示させてください。

本製品の廃棄

- ・ 本製品を一般家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。
- ・ 本製品を廃棄するときは、地方自治体の定める廃棄方法に則って正しく処分してください。

準備

開梱

ヒント: 画像は設計図に基づきます。実際の外観は、製品の実物を参照してください。



フライトケース

1. LDM ボックスの開梱。

フライトケースからカートンを取り出し、カートンを開きます。ハサミで真空バッグを切ります。カートンから6つのLDMを取り出します。



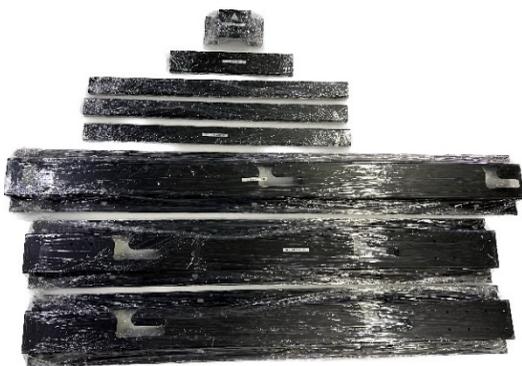
6つのLDM



2. キャビネットボックスの開梱。



ステップ 1: 壁掛けブラケットを取り出し、透明フォーム上に置きます。



接続に関する設定について

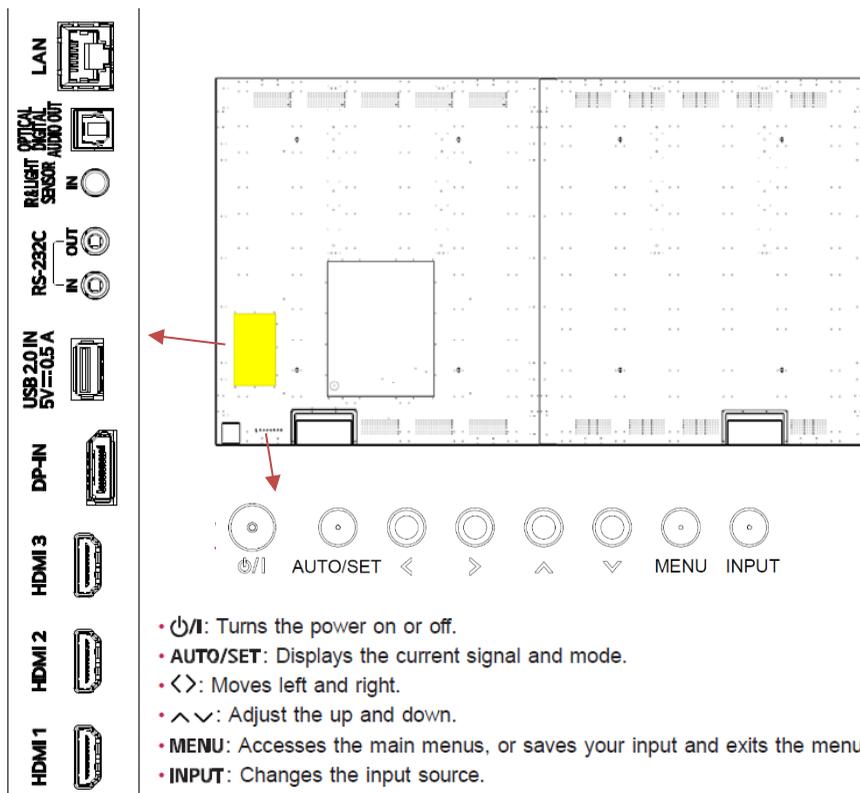
LAEC015-GY2 画面のインターフェースと機能

1. リモコン



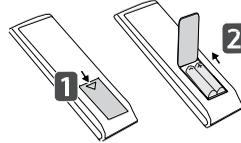
2. インターフェースとボタンの仕様

ヒント: 音量ボタンはキャビネットに備わっていません。音量はリモコンでのみ操作できます。



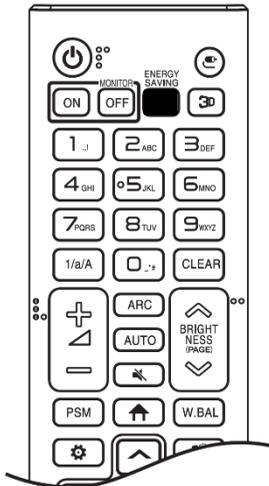
リモコン

本書では、リモコンのボタンで操作の説明をしています。本書をよくお読みいただいて、正しい方法でモニターを使用してください。電池を取り付けるには、電池カバーを開け、1.5 V の単四電池を入れます。このときと極の方向をボックス内のラベルの表示に合わせて取り付けてください。電池を入れたら、電池カバーを閉じます。電池を取り外すには、取り付けと逆の手順を行います。図は実際の付属品と異なることがあります。



⚠ 注意

- ・リモコンが故障するおそれがあるので、古い電池と新しい電池は一緒に使用しないでください。
- ・リモコンは、必ずモニターのリモコンセンサーに向けて使用してください。
- ・モデルによっては、リモコンの一部の機能をサポートしていない場合があります。
- ・製品の内部電池と外部電池は、直射日光や炎など過度の高温にさらさないでください。



⏻（電源）：モニターの電源のオン/オフを切り替えます。

MONITOR ON：モニターをオンにします。

MONITOR OFF：モニターをオフにします。

ENERGY SAVING：画面の明るさを調整して、消費電力を抑えます。

⏻（入力）：入力モードを選択します。

3D：画面のレイアウトパターンをオンにします。

数字/アルファベットボタン：設定に応じて数字またはアルファベットを入力します。

1/a/A：数字とアルファベットを切り替えます。

CLEAR：入力した数字またはアルファベットを削除します。

⏮ ⏪ ⏩ ⏭（音量上/下ボタン）：音量を調整します。

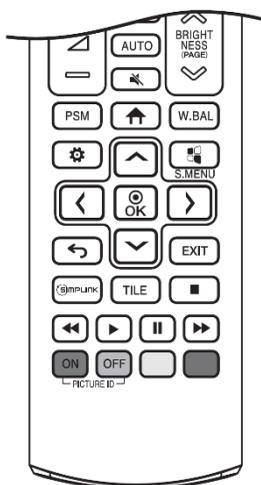
ARC：画面サイズモードを選択します。

AUTO：自動的に映像の位置を調整し、揺れを最小限に抑えます
（アナログ入力のみで使用可能）。

🔇（ミュート）：音量をミュートに設定します。

BRIGHTNESS：画面の明るさを調整します。

PAGE：本製品は対応していません。



PSM : ピクチャーモードを選択します。

HOME (ホーム) : ランチャーを起動します。

W.BAL : 「ホワイトバランス」メニューが表示されます。

設定 (設定) : メインメニューへのアクセス、入力の保存、メニューの終了に使用します。

S.MENU : SuperSign メニューキーです。

ナビゲーションボタン (ナビゲーションボタン) : メニューやオプションを操作します。

OK : ナビゲーションボタンで選択した項目を決定します。

戻る (戻る) : 一つ前の項目に戻ります。

EXIT : すべての OSD タスクとアプリケーションを終了します。

SIMPLINK : 本製品に接続した SIMPLINK に対応したデバイス进行操作できます。

TILE : タイルモードを選択します。

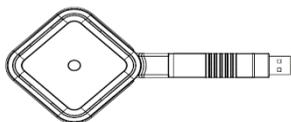
PICTURE ID ON/OFF : ピクチャーID とセット ID の番号が等しい場合に、該当のモニターをマルチディスプレイ形式で制御できます。

メディアコントロールボタン (メディアの再生をコントロールします。 (本製品は対応していません。))

オプション部品

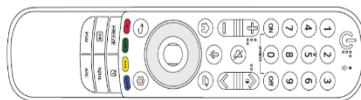
本製品の品質向上のため、オプション部品は予告なく変更または追加されることがあります。実際の製品および付属品の外観は、本書のイラストと異なることがあります。

- LG One:Quick|Share



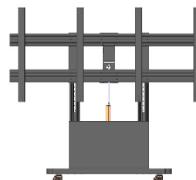
<SC-00DA>

- マジックリモコン



<AM-MR21LS>

- 専用スタンド



<ST-136H>

注意:

本 LED ビデオディスプレイは ST-136H スタンド専用です。他のスタンドと一緒に使用すると不安定になり、怪我の原因となります。

構造

一般

本マニュアルは、LAEC018-GY2 LED ディスプレイシステムの概要、主なシステムコンポーネント、各部の接続方法を紹介します。

本書で不明な点がある場合は、最寄りの営業所か、本社まで詳細をお問い合わせください。

システムの目的と動作の簡単な説明

LAEC015-GY2 LED ディスプレイシステムは屋内での使用を意図しており、多数の人々が高品質のダイナミックな画像を楽しめるよう設計されています。

パネルのサイズは、設計当初からエンドユーザーの要望を取り入れたものになっています。

全体の構造

LAEC015-GY2 のパネル構造

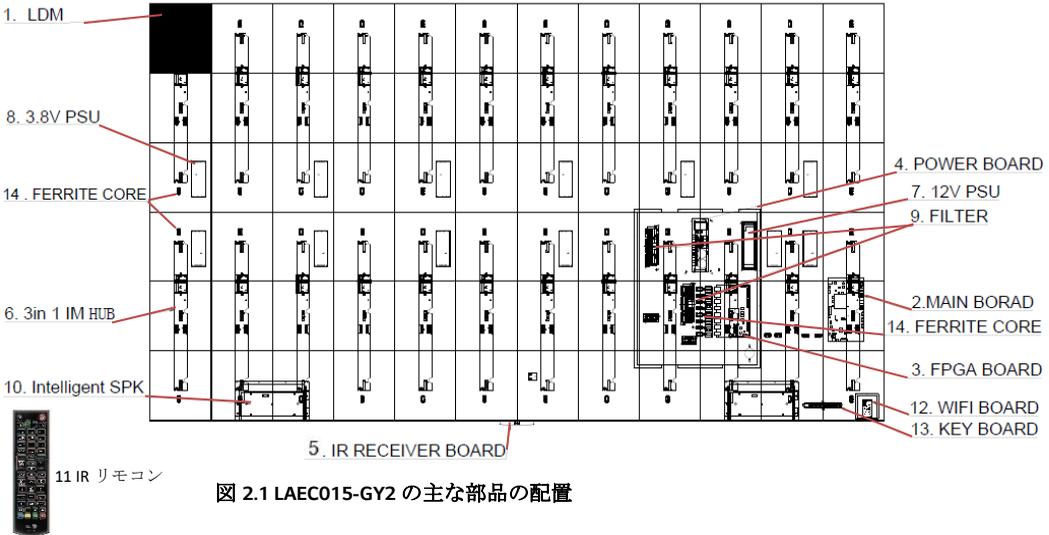
LAEC015-GY2 LED パネルは、アルミ製のフレームワークを基礎として、パネルを上張り合わせた構造をとっています。この構造は剛性を増し、また素早く取付作業を完了できるよう、中央にスタッカーを備えています。パネルは固定フレームワークの上に取り付ける仕様となっています。

表 2.1 に、LAEC015-GY2 LED パネルの主な部品が記載されています。パネルの構成は図 2.1 に示されます。

主な部品とその配置

LEDディスプレイを駆動させるために、5枚のシステム基板が存在します。IRレシーバー基板、電源とミニカードの変換基板、I/O基板、LAEC制御基板、電源基板です。以降の章で、各基板の説明をご覧ください。

LAEC015-GY2 LEDディスプレイはLDMとケースが組み合わさります。LDMとケースは磁力で固定されています。



| 項目 | 説明 | 数量 |
|----|-------------------------------|----|
| 1 | LEDディスプレイモジュール (LDM) | 72 |
| 2 | メイン基板 | 1 |
| 3 | FPGA 基板 | 1 |
| 4 | 電源基板 | 1 |
| 5 | IRレシーバー基板 | 1 |
| 6 | 電源とミニカード変換基板 (3つの機能を1枚の基板に集約) | 24 |
| 7 | 12V/200W スイッチングモード電源 | 1 |
| 8 | 3.8V/189W スイッチングモード電源 | 12 |
| 9 | EMI/RFI AC 電源線フィルター | 2 |
| 10 | インテリジェント SPK | 2 |
| 11 | IR リモコン | 1 |
| 12 | Wi-Fi/Bluetooth 基板 | 1 |
| 13 | キーボード | 1 |
| 14 | フェライトコア (小 x56 + 大 x8) | 64 |

ヒント: PSU の出力は調整可能です。実際の出力値は製造データのラベルに記載されています

図 2.1 - LAEC015-GY2 LED パネル構造の主な部品

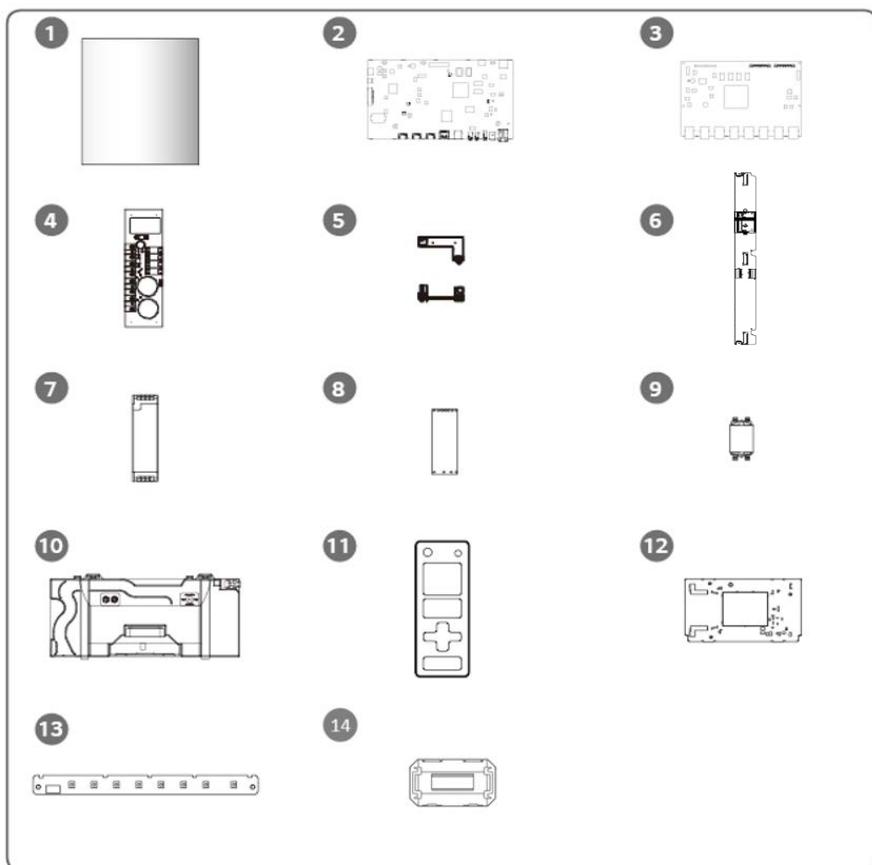
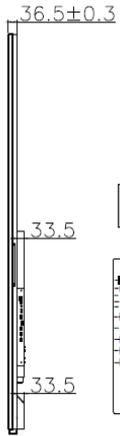


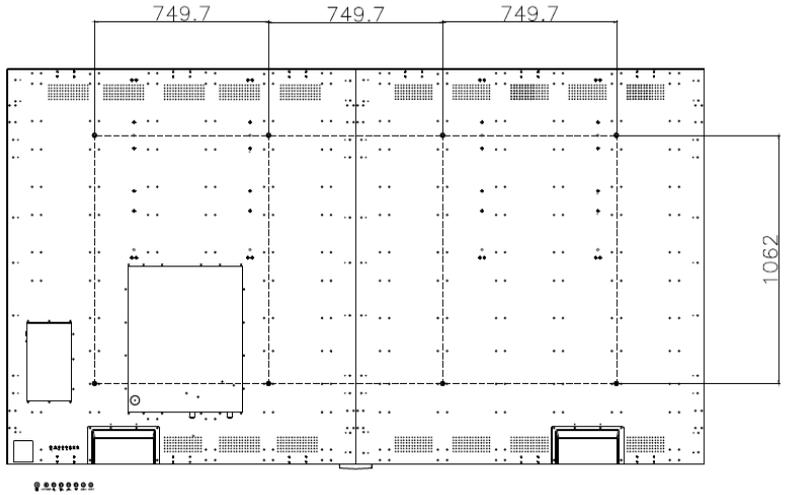
図 2.2 LAEC015-GY2 LED パネル構造の主な部品

機械の構造

単位: (mm)

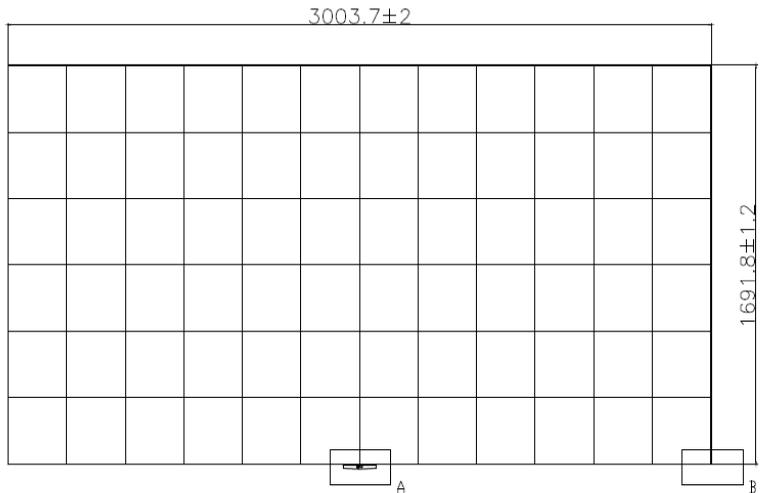


<側面図>



<背面図>

単位: (mm)



<正面図>

LED ディスプレイモジュール (LDM)

LAEC015-GY2 LED ディスプレイの正面には、LDM と呼ばれる、72 の発光ダイオード (LED) ドット LED モジュールが備わります。各 LDM は 28800 の LED*と、関連の駆動用電子部品を搭載します。電気接続 (低電圧電源とデジタルデータ) は、エンクロージャの内部から、各 LDM の背後へ接続されます。

図 3 と 4 は、LAEC015-GY2 LDM の正面図と背面図を示します。

* 注意 : 各 LDM は 160x180 ピクセル (幅 x 高さ) を含み、各ピクセルは 3 つの LED を集約したユニットで構成されるため、LDM の前面には合計で 28800 の LED が搭載されています。

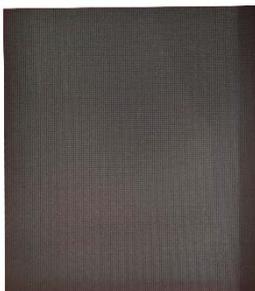


図 3 LDM - 正面図

LDM の設置場所を示すラベル。



* LDM の設置場所ラベルはキャビネットにも貼付されています。

キャビネット番号を示すラベル。



* 同じラベルがキャビネットの前面の右下と左下にも貼付されています。



図 4 LDM - 背面図

設置のガイドライン

LAEC015-GY2 LED ディスプレイでは、各 LDM に 4 つのガイドピンが搭載されています。これらは磁石の力で固定されており、垂直方向と水平方向で結合されているため、一体として画面を構成できます。

LAEC015-GY2 LED ディスプレイは、スタンド（別売り）または壁面に取り付けて使用するよう設計されています。設置時は、画面全体の位置を、垂直方向と水平方向の両方で正しく合わせる必要があります。

設置

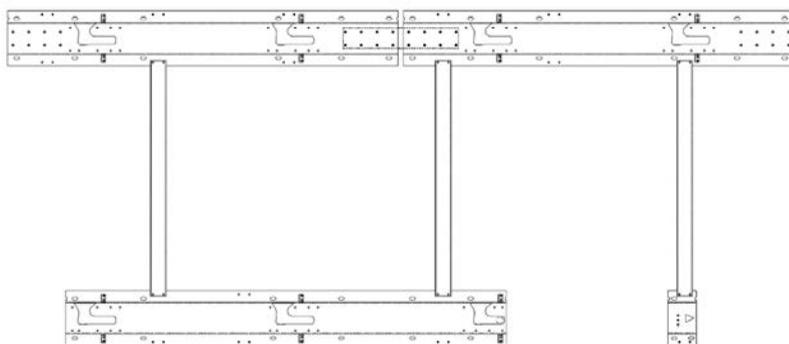


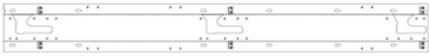
図 5 壁面取付の正面図



図 6 LAEC015-GY2 の正面図

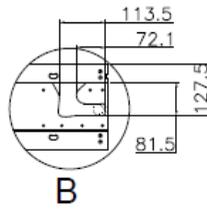
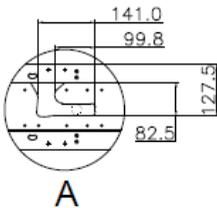
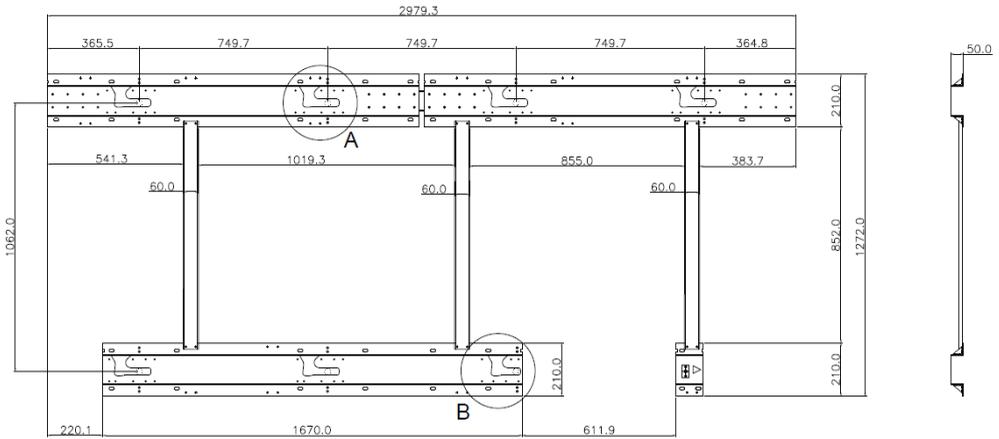
1) 取付プレートの設置

壁掛けブラケット一覧

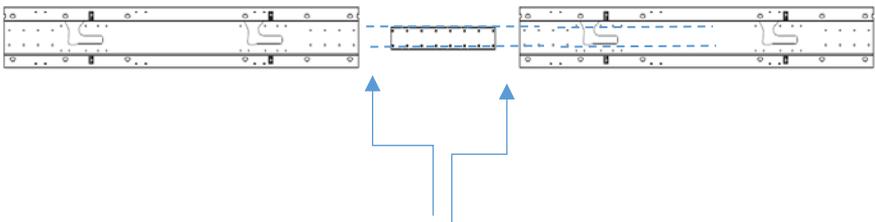
| 項目 | 説明 | 写真 | 数量 |
|----|--------------|---|---------------------|
| 1 | 上部スリッププレート |  | 2 |
| 2 | 左右の接続プレート |  | 1 |
| 3 | 下部スリッププレート |  | 1 |
| 4 | 下部固定プレート |  | 1 |
| 5 | 上部と下部の接続プレート |  | 3 |
| 6 | M4x10 皿ネジ |  | 16 |
| 7 | M4 ナット |  | 12 |
| 8 | M8x60 延長ネジ |  | 21 |
| 9 | M6 ネジ |  | 1 |
| 10 | ネジ用座金 |  | 1 |
| 11 | 鋼鉄製取付ロック |  | 8 (スタンド用 に1つ) |
| 12 | M10x20mm 皿ネジ |  | 8 (スタンド用 に1つ) |

壁掛け図

(単位 : mm)

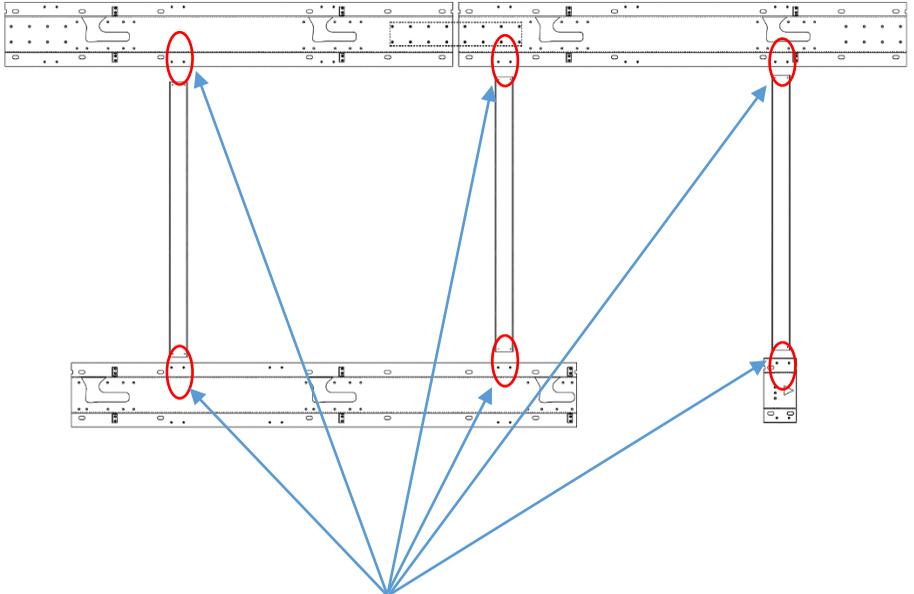


Step1 に切り替えます。(プリアセンブリ) 2つの上部スリッププレート (項目 1) へ左右の接続プレート (項目 2) を取り付けます

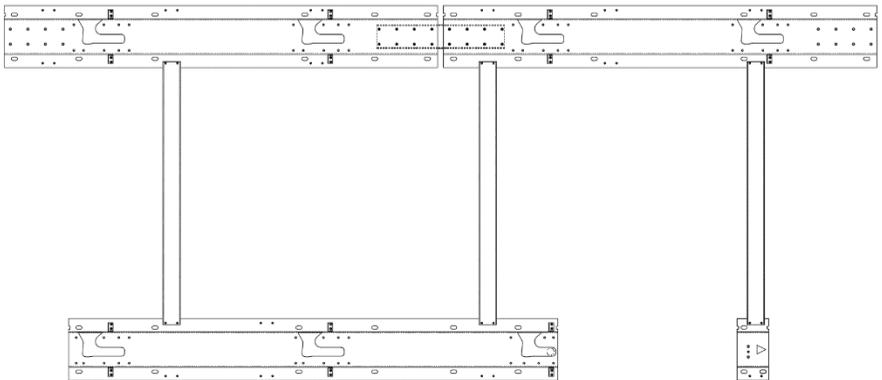


16個の M4X10 ネジ (項目 6) で

Step2 に切り替えます。（プリアセンブリ）上部プレートと下部プレート（項目 3 と 4）へ接続プレート（項目 5）を取り付けます。



12 個の M4 ナット（項目 7）で締め付けます。

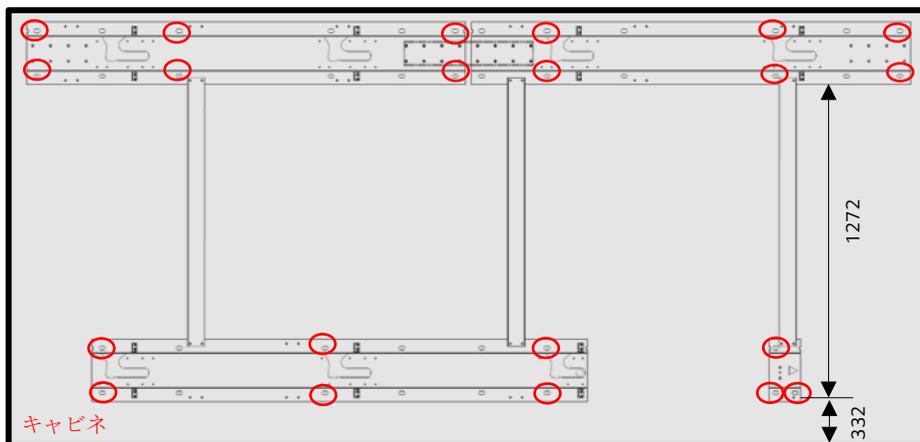


Step3 に切り替えます。取付プレートアセンブリを水平にして、壁に固定します。

以下の寸法を参考に、設置するキャビネットの高さを決定します。

ネジ（項目 8）を取り付ける場所は赤色の円で示されています。

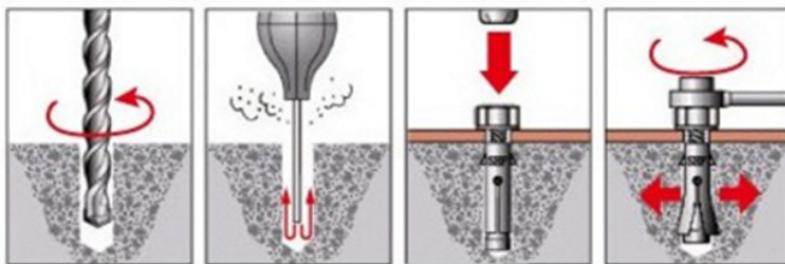
ネジの深さは 60～65mm です。



床

床からキャビネットまでの高さ

* 延長ネジの使用方法（項目 8）



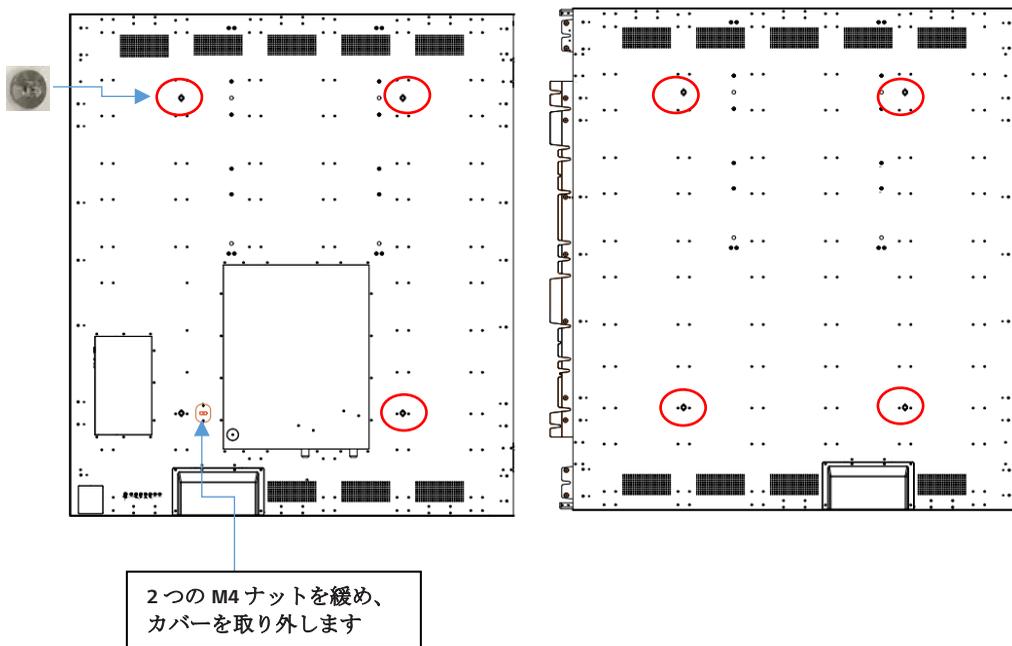
2) 画面の組立

キャビネット背面の固定ネジ7つ（取り付けロック + M10x20 ネジ）がキャビネットに組付けられ、工具で固定されています。



取り付けロック + M10x20 ネジ

〈背面図〉



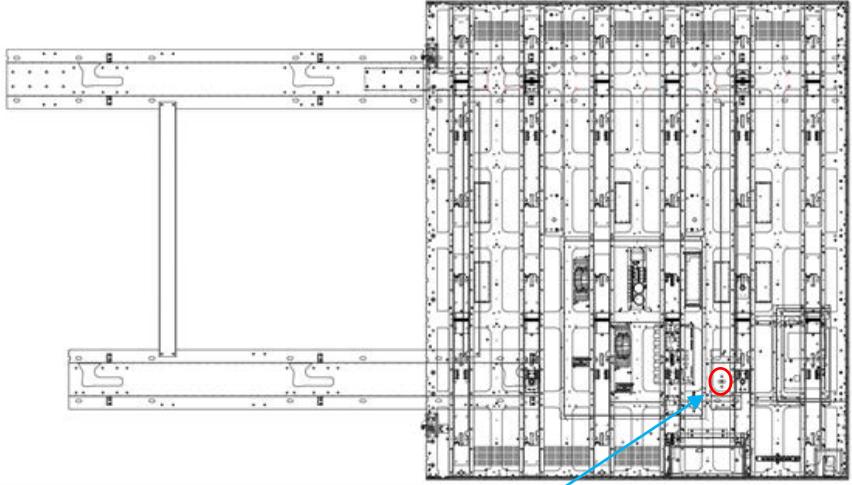
右キャビネット

左キャビネット

ヒント: 右キャビネットを先に取り付け、その後に左キャビネットを取り付けてください。

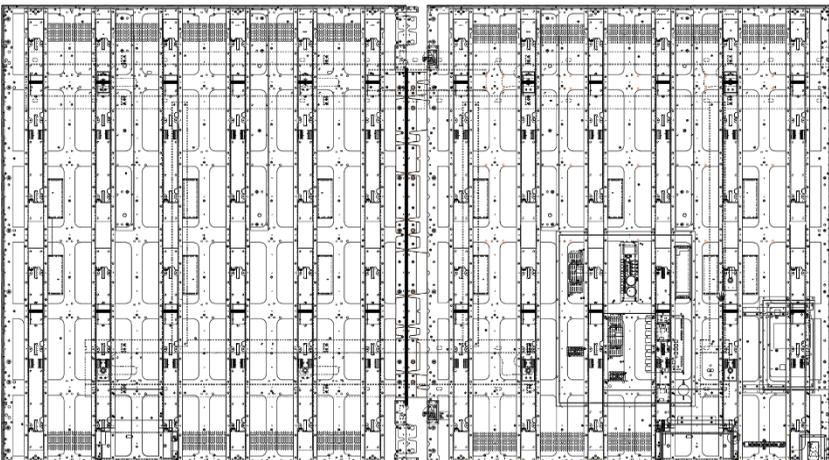
3) 画面の設置

1. 2名で協力して右側のキャビネットを持ち上げ、壁掛けブラケットへ配置します。

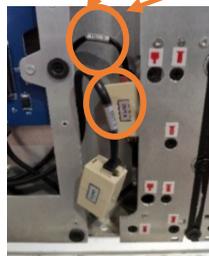
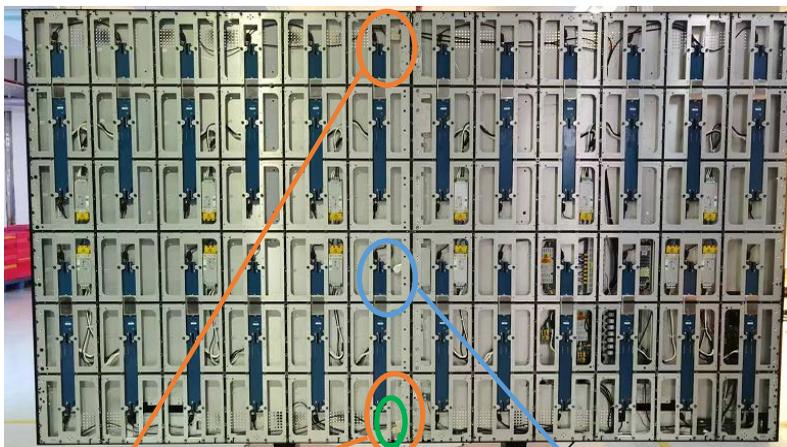


ウエスト穴へ調整して合わせ、ネジ用の座金（項目 10）を追加し、M6 ネジ（項目 9）で締め付け、左側の箱が左右に動かないように固定します

2. 左半分のキャビネットをブラケットへ置きます。

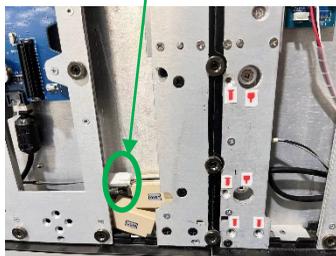


3. すべてのケーブルを接続し、すべての LDM を元通りに設置する必要があります。



4 本ネットワーク ケーブル

ケーブルに注意してく
ださい。OUT1 と表示さ
れた RJ45 ケーブルは、
OUT1 と表示されたコネ
クター田です



スピーカーケーブル
コネクター1つ

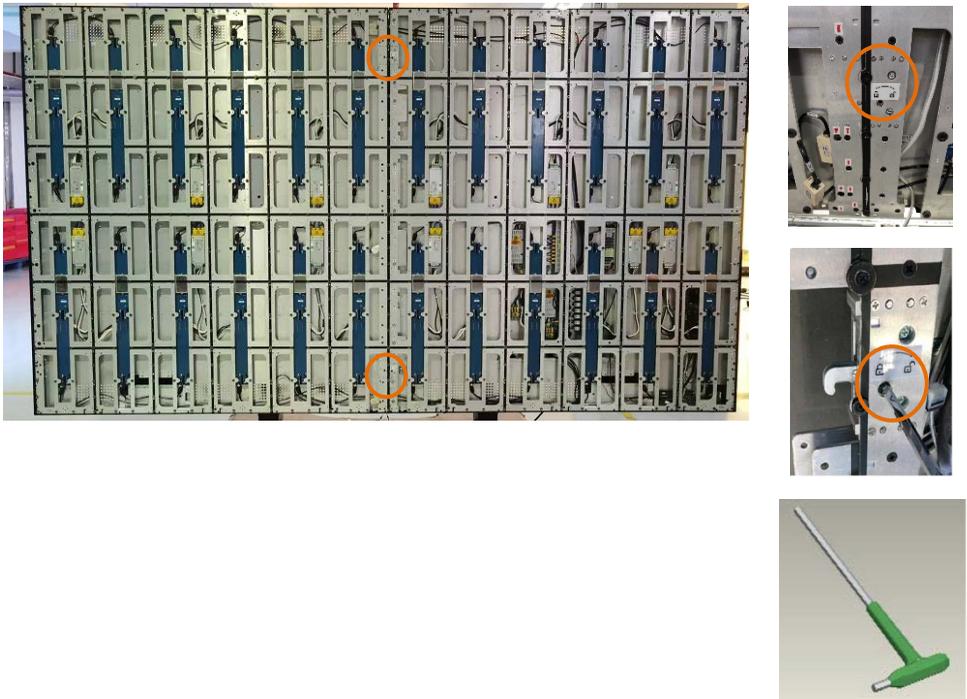


1 本 AC ケーブル

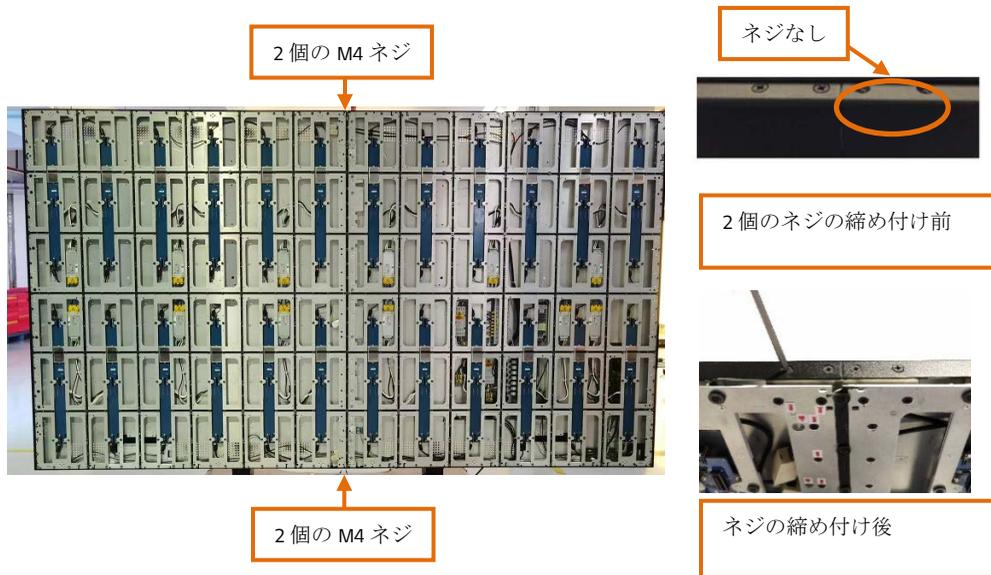
4. 壁掛けマウントへキャビネットをスライドさせて固定します。アルミ製ブロックが固定金具に正しく接続されているか、確かめてください。



5. キャビネットを結合したら、ラベルの指示に従い、六角プレートでキャビネットを素早く固定します。



6. ケースの上部と下部の両方で、8 個の黒い M4 皿ネジを締め付けます。



7. M4 ネジを締め付けます。



: 取り付けられたネジを締め付けます (11 か所)

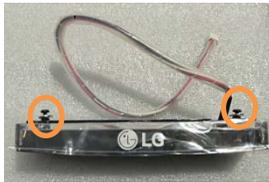
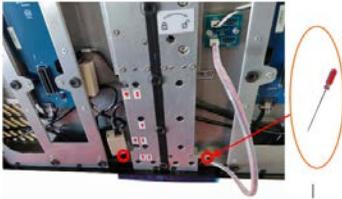


: M4x10 皿ネジを使用して締め付けます (18 か所)

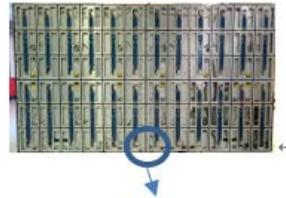
8. センサーボックスのモジュールは、メイン基板とセンサーボックスモジュールの「IR センサー基板」へ接続するためのケーブルコネクタを備えています。

ケーブルを正しく接続したら、2 個の M3 ネジをキャビネット中央の下側へ締め付け、センサーボックスのモジュールを固定します。

これら 2 つのネジは赤色でマーキングされており、プラスドライバーで締め付けてください。決して見逃さないこと。



センサーボックスのモジュール



Install Sensor box
module location ⇨



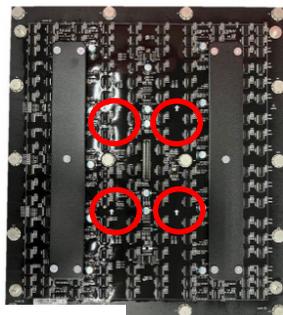
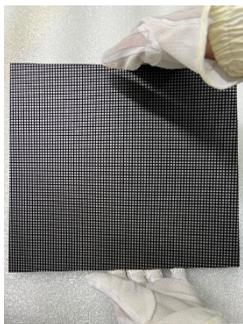
9. すべての LMD (LED パネル) の背面にはラベルが添付されています。以下の手順で LDM を設置してください。

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| <u>01-01</u> | <u>01-02</u> | <u>01-03</u> | <u>01-04</u> | <u>01-05</u> | <u>01-06</u> | <u>01-07</u> | <u>01-08</u> | <u>01-09</u> | <u>01-10</u> | <u>01-11</u> | <u>01-12</u> |
| <u>02-01</u> | <u>02-02</u> | <u>02-03</u> | <u>02-04</u> | <u>02-05</u> | <u>02-06</u> | <u>02-07</u> | <u>02-08</u> | <u>02-09</u> | <u>02-10</u> | <u>02-11</u> | <u>02-12</u> |
| <u>03-01</u> | <u>03-02</u> | <u>03-03</u> | <u>03-04</u> | <u>03-05</u> | <u>03-06</u> | <u>03-07</u> | <u>03-08</u> | <u>03-09</u> | <u>03-10</u> | <u>03-11</u> | <u>03-12</u> |
| <u>04-01</u> | <u>04-02</u> | <u>04-03</u> | <u>04-04</u> | <u>04-05</u> | <u>04-06</u> | <u>04-07</u> | <u>04-08</u> | <u>04-09</u> | <u>04-10</u> | <u>04-11</u> | <u>04-12</u> |
| <u>05-01</u> | <u>05-02</u> | <u>05-03</u> | <u>05-04</u> | <u>05-05</u> | <u>05-06</u> | <u>05-07</u> | <u>05-08</u> | <u>05-09</u> | <u>05-10</u> | <u>05-11</u> | <u>05-12</u> |
| <u>06-01</u> | <u>06-02</u> | <u>06-03</u> | <u>06-04</u> | <u>06-05</u> | <u>06-06</u> | <u>06-07</u> | <u>06-08</u> | <u>06-09</u> | <u>06-10</u> | <u>06-11</u> | <u>06-12</u> |

<正面図>

4) LDM の取り付け

Step1 に切り替えます。静電防止手袋をはめ、LDM を取り出します。LDM 背面の矢印は、上向きの方
向を示します。LDM を取り付けの前に確認してください



Step2 に切り替えます。LDM をケースに配置します



注意: LDM をキャビネットの正しい場所に固定できるよう、LDM 背面にガイドピンが存在します。
LDM が磁石の引き寄せで影響を受けないように、LDM を完全に取り付けた後、LDM から手を離し
てください。LDM の角がぶつからないように、LDM の取り付け時は注意してください。

ヒント: すべての LDM を、ケースでそれぞれに割り当てられた位置へ設置することを推奨します。
さもなければ、画面に色の違いが出ます。

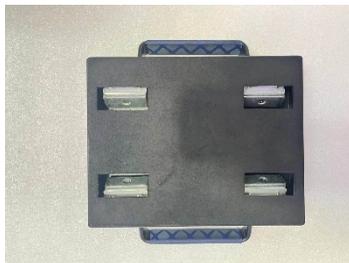
また、LDM と予備の LDM で、裏側にあるシリアル番号と、ケースの左下にあるパネルのシリアル
番号が一致することを確認してください。

5) LDM の取り外し

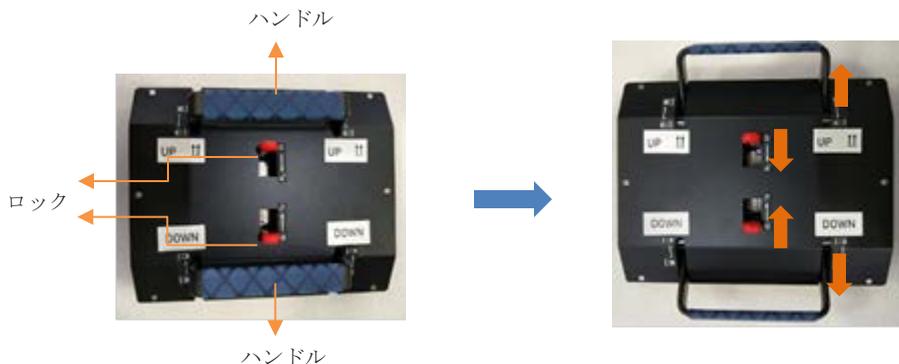
Step1 に切り替えます。LED ディスプレイの電源をオフにします。

Step2 に切り替えます。磁石ツールから異物を取り除きます。

LDM の LED を破損する可能性があるため、磁石ツールを使用する前に、異物を磁石ツールから取り除いてください。



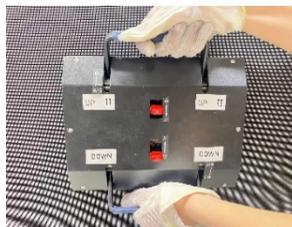
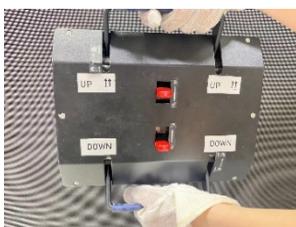
Step3 に切り替えます。ハンドルを持って、ロックを内側に押し込みながらハンドルを外側に引きます。



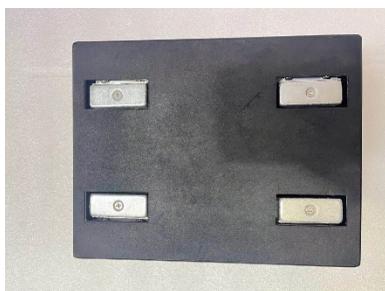
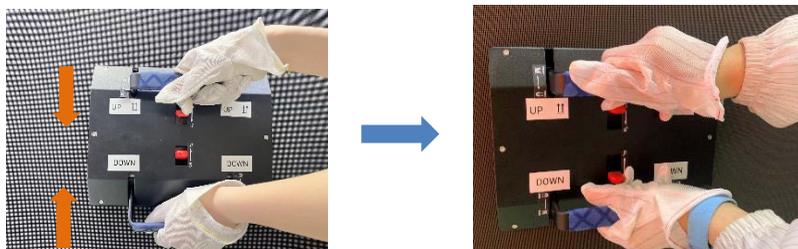
Step4 に切り替えます。ツールを持ち上げて水平に保ち、ディスプレイの表面へ丁寧に固定します。

ラベルの矢印の方向に注意してください。

ラベルの矢印は常に上方向を向かせてください。



Step5 に切り替えます。ハンドルを中央に向けて引き、磁石を固定させてください。



磁石が固定された状態

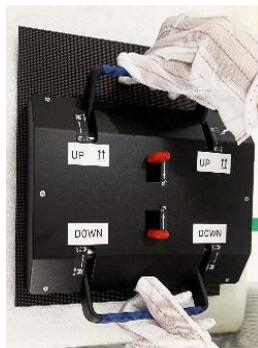
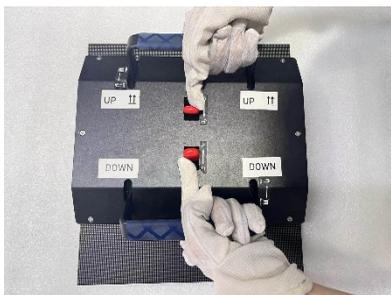
Step6 に切り替えます。LDM を丁寧に引き、ゆっくりと下ろします。



Step7 に切り替えます。LDM とツールを、静電防止性の柔らかいパッドへ丁寧に下ろします。フライトケースで部品を保護するために使用した白色のフォームなどを使用してください。



Step8 に切り替えます。ロックを内側へ押し込み、ハンドルを外側へ引いて、工具をゆっくりと持ち上げます。



電気系統

電源を接続する配電網は、過電流と接地漏電に対して十分な保護能力を有する必要があります。

各 LAEC015-GY2 の電気特性

| 100V AC 入力にて | | | | 240V AC 入力にて | | | |
|--------------|----|---------|------|--------------|----|---------|------|
| パラメータ | 単位 | 評価 | | パラメータ | 単位 | 評価 | |
| | | 正常 | 最大 | | | 正常 | 最大 |
| 入力電流 | A | 6.8 | 17 | 入力電流 | A | 2.83 | 7.09 |
| 入力周波数 | Hz | 50 – 60 | 65 | 入力周波数 | Hz | 50 – 60 | 65 |
| 電源 | W | 680 | 1700 | 電源 | W | 680 | 1700 |

回路保護

画面の各部は、高異常電流を遮断するブレーカーと、接地漏電を検出する漏電遮断器（RCD）で保護する必要があります。

接地漏電の考慮

システムの各パネルは、13のスイッチングモード電源と2つのEMIフィルターから、接地漏電を起こします。

パネルごとに、接地漏電は240V時に最大13.2mAに達します。

このため、30mAのRCDを使用する場合、セクションごとのパネル数は安全を考慮して最大2台に抑える必要があります。



突入電流と過電流の考慮

各パネルのLEDと論理回路へ電力を供給する、付属のスイッチングモード電源の突入電流は、コールドスタート時に230Vで720Aと、製造元により規定されています。

しかし、パネルが安定動作した状態での最大電流はそれよりもずっと下がり、240V時に8.33A、100V時に20Aです。画面の各部を制御するプレーカーは、電源オン時の短い突入電流に対応できる必要があります。この場合は電源を不要に遮断せず、通常動作時に機器内の故障が原因で起こる過電流を検出する必要があります。

アース接続

各パネルは、電源接続器を通じてAC電源配信システムのアースへ個別に接続されています。パネルで露出した金属部（メインフレーム）もすべて、このアースへ接続されます。

フレームワークを各パネルのみを通じて（つまり、パネルの固定ボルトを通じて）接地すると、配線不良が起こったり、落雷などの放電がパネルに当たった際に電氣的障害が発生する可能性があります。こうした状況が起こると、パネルの放電は、フレームワークからアースではなく、パネルからアースの経路をとります。金属製フレームワークへ恒久的に設置した場合、フレームワーク自体もアースへ直接接続する必要があります。

CE-EMC 宣言

本製品は CE 認証を受けています。設置場所は他の繊細なシステムや設置環境から少なくとも 30 メートル離す必要があります。道路近辺に配置されると、自動車の無線通信へ干渉する恐れがあります。

FCC 宣言

本機器は FCC 規定のパート 15 に従い試験され、クラス A デジタル機器の制限に準拠することが確認されています。

これらの制限は、機器を商業環境で使用する際に、有害な干渉から妥当な保護を提供するべく設けられています。本機器は無線周波数エネルギーを生成、使用、放射します。取扱説明書に従って設置し使用しない場合、無線通信へ有害な干渉をおよぼす可能性があります。本機器を住宅地域で使用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があります。この場合、ユーザーが自費で干渉対策を施す必要があります。

*ヒント: 製造元が承認しない改造を施すと、ユーザーは本機器を使用する権利を失うことがあります。

電源ケーブルの配線

AC パワー

パネル内部の承認済み 3 極電源接続器が、AC 電源へ接続します。続いて AC 電源ケーブルが EMI フィルターへ接続され、電源ユニットへ電力を配信します。各パネルには、接地用のアース端子が備わっています。

| 配線色 | A.C.電源接続（100V 用） | A.C.電源接続（240V） |
|-------|------------------|----------------|
| 茶色 | AC.通電 | AC.通電 |
| 青色 | AC.中立 | AC.中立 |
| 緑色/黄色 | AC.保護接地 | AC.保護接地 |

電源ケーブルの数

- 110V AC を使用する国：本製品には 2 本の電源入力コードが同梱され、それぞれ当該国の AC 電源コンセント用ソケットに合致します。
- 220V AC を使用する国：本製品には 1 本の電源入力コードが同梱され、当該国の AC 電源コンセント用ソケットに合致します。

DC パワー

各電源ユニットからの DC 電力は、駆動基板やファンなどの割り当てられた電子部品へ低電圧電力を供給します。配線の各色は、対応する部品の電源接続を示します。以下の表に、配線構成がわかりやすくまとめられています。

| 配線色 | DC 電源接続 |
|-----|-----------------------------|
| 白 | 緑 LED / 青 LED / 赤 LED / TTL |
| 黒 | GND |

接続

本製品にはさまざまな外部デバイスを接続できます。入力モードから外部デバイスを接続した映像入力端子を選択します。外部デバイスの接続の詳細については、各デバイスに付属する取扱説明書を参照してください。

PC への接続

一部のケーブルは別売です。このモニターは、Plug and Play*機能に対応しています。

* Plug and Play機能：PC の電源がオンになっている状態で、デバイスを接続すると、設定や操作をせずに PC が自動的にデバイスを認識する機能です。

外部機器接続

一部のケーブルは別売です。HD レシーバーや Blu-ray/DVD プレーヤー、ビデオデッキなどの映像機器をモニターに接続し、適切な入力モードを選択します。

最適な映像および音声品質を得るために、HDMI ケーブルを使用して外部機器とモニターを接続することをお勧めします。

ヒント

- ・最適な画像品質を得るには、HDMI 接続でモニターを使用することを推奨します。
- ・本製品の仕様に準拠するために、各種映像信号ケーブル（DisplayPort/HDMI）は、必ずフレライトコアでノイズ対策されたケーブルを使用してください。
- ・本製品が冷えている状態でモニターの電源をオンにすると、画面がちらつくことがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。
- ・まれに画面に小さな点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。
- ・ハイスピード HDMI[®]/TM ケーブル（長さ 3m 以内）を使用してください。
- ・HDMI ロゴ付きの認証済みケーブルを使用してください。認証されていない HDMI ケーブルを使用すると、画面が表示されなかったり、接続エラーを起こしたりすることがあります。
- ・推奨の HDMI ケーブルのタイプ
 - ハイスピード HDMI[®]/TM ケーブル
 - イーサネット対応ハイスピード HDMI[®]/TM ケーブル
- ・HDMI 接続で音声が出力されない場合は、PC の設定を確認してください。一部の PC では、基本の音声出力を HDMI に手動で変更する必要があります。
- ・HDMI 端子に PC を接続して使用する場合は、PC/DTV を PC モードに設定する必要があります。
- ・HDMI 端子に PC を接続して使用すると、互換性の問題が発生することがあります。
- ・各ケーブルを接続する際は、電源コードが抜かれていることを確認してください。
- ・ゲーム機をモニターに接続する場合は、ゲーム機に付属するケーブルを使用してください。
- ・ハイスピード HDMI[®]/TM ケーブルは、最大 1080p 以上の HD 信号を送信します。
- ・外部オーディオ機器を接続する場合は、オーディオアンプが搭載されている機器を使用してください。

注意

- ・液晶パネルを指で押さないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- ・一時的な残像を防ぐため、画面に静止画を長時間表示しないでください。なるべくスクリーンセーバーを使用してください。
- ・ワイヤレス機器がモニターの近くにある場合、映像が乱れるなどの悪影響を及ぼすことがあります。

入力の切り替え

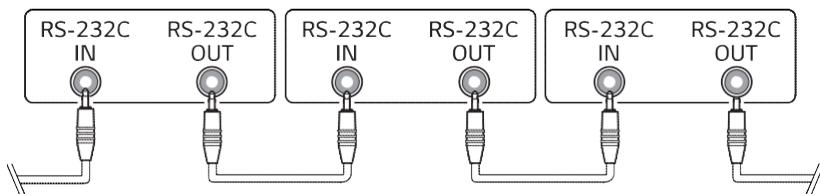
↑ (ホーム) → 

HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 → DISPLAYPORT

ケーブルの接続

図に示される要領で、RS-232Cケーブルを接続します。

RS-232C プロトコルが、PC と本製品の通信に使用されます。本製品をオン/オフし、入力ソースを選択して、PC から OSD メニューを操作できます。



トラブルシューティング

映像が表示されない。

- ・電源コードは製品に接続されていますか？
 - 電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうかを確認してください。
- ・製品の接続時に「不明な製品」というメッセージが表示される。
 - グラフィックカードの取扱説明書を参照して、Plug and Play機能がサポートされているかどうかを確認してください。

画面に関する問題（ビデオ）

- ・画面の位置が適切でない。
 - グラフィックカードの解像度と周波数が本製品でサポートされているかを確認してください。周波数がサポート範囲から外れている場合、コントロールパネルの「ディスプレイ」で推奨の解像度、リフレッシュレート（垂直走査周波数）に設定してください。
- ・画面が正常に表示されない。
 - 適切な入力ソースがポートに接続されていません。入力ソース信号に適したケーブルを接続してください。

画面（色）に関する問題

- ・製品の電源をオフにすると、残像が表示されます。
 - 静止画を長時間表示したままにしておくと、LED パッケージが急激に損傷するおそれがあります。スクリーンセーバー機能を使用してください。
 - コントラストの高い画像（黒と白またはグレー）の表示後に黒い画像を表示させると、残像が発生する可能性があります。これはLED 製品の特性であり、不良や故障ではありません。
- ・色合いが正常に表示されない。
 - 色深度を 24 ビット（True Color）以上に設定します。
- ・画面の色が不安定またはモノクロになる。
 - 映像信号ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、グラフィックカードがスロットに正しく挿入されているか確認してください。＊グラフィックカードの確認をする際は必ず PC の電源をコンセントから抜いて確認してください。

その他の問題

- ・電源が突然オフになる。
 - スケジュール関連の設定で、自動オフ機能が有効になっていないか確認してください。
 - 電源が適切に供給されているか確認してください。本製品の電源コードが適切に接続されているか確認してください。

ネットワーク接続の問題

- ・メインのネットワークと最後の異常動作モジュールとの接続が原因で画面表示されない場合、メインのネットワーク線の接続が間違っており、異常動作モジュールが誤ったネットワーク接続を出力します。

検査方法：それぞれの位置でネットワークケーブルの状態を再確認して、接続に問題がないことを確かめます。



- ・モジュールからバックアップネットワークポートへのケーブル接続が異常動作して画面表示されない場合、異常動作モジュールの入力が誤っており、バックアップネットワークケーブルの接続も異常です。

検査方法：それぞれの位置でネットワークケーブルの状態を再確認して、接続に問題がないことを確かめます。



LDMの問題

- ・LDM のモジュール位置が間違っているのは異常な状態です。

検査方法：LDM を正しい位置へ配置しなおします。



- ・以下の手順で再配置できます。

1. パネルの電源をオフにして電源ケーブルを引き抜きます。
2. 問題のある LDM を特定します。
3. 問題のある LDM をパネルから取り外します（36 ページと 37 ページを参照してください）。
4. 交換用の LDM を問題のある箇所へ取り付けます（38 ページを参照してください）。
5. LDM がしっかりと取り付けられていることを確認します。
6. パネルの電源をオンにします。
7. 交換した LDM が正常に動作していることを確認してください。

PSUの問題

- ・LDM の位置で異常動作して画面が表示されない場合、該当する PSU の電源供給状態が異常です。

検査方法：PSU を正しい位置へ配置しなおします。



アダプター基板の問題

- ・LDM の位置で異常動作して画面が表示されない場合、該当する位置のアダプター基板が異常動作しています。

検査方法：該当する位置のアダプター基板を交換します。



レーザー基板の問題

- ・DMM の位置で異常動作して画面が表示されない場合、該当する位置のレーザー基板が異常動作しています。

検査方法：該当する位置のレーザー基板を交換します。レーザーカードのパラメーターをすべての、または特定のレーザーカードへ再送信します。



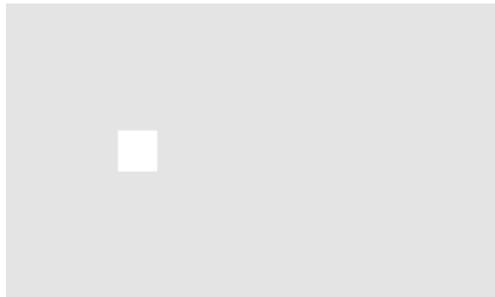
キャリブレーションデータの異常

- 画面が白色の場合、一部のLDMが他より明るくなります。

検査方法：キャリブレーションをオフにした後オンにして、キャリブレーションデータが存在するか確認します。

LDMのデータとレシーバカードのデータを切り替えて、キャリブレーションデータが存在し、正しい値となっていることを確認することもできます。

上記のいずれの方法でも解決しない場合、該当するキャリブレーションデータを再度読み込んで送信する必要があります。



画面全体が非表示

- 電源と内部の電源基板が異常動作している可能性があります。

検査方法：電源と電源基板が正常に動作しているか、確認します。

画面が暗くならず信号ソースを切り替えられる場合、入力ソース、信号線、信号伝達基板が正常に動作していることを確認してください。

製品仕様

以下の製品仕様は、製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります
 " ~ "は交流 (AC) を表し、" ≡ "は直流 (DC) を表します。

| | | |
|-----------------------|-------|---|
| ピクセルピッチ (ピクセル間の距離) | | 1.5625 mm |
| 最小の明るさ (キャリブレーション後) | | 500 ニット |
| 視野角 (水平/垂直) | | 160 / 160 |
| リフレッシュレート (Hz) | | ≥3960 |
| 解像度 | | 1920 x 1080 - LDM 解像度 : 160 x 180 |
| 映像信号 | 最大解像度 | 3840 x 2160 @ 30 Hz - OS またはグラフィックカードタイプによってはサポートされていない場合があります。 |
| | 推奨解像度 | 1920 x 1080 @ 60 Hz - OS またはグラフィックカードタイプによってはサポートされていない場合があります。 |
| | 水平周波数 | 27 kHz~68 kHz |
| | 垂直周波数 | 24 Hz~60 Hz |
| | 同期 | セパレート同期、デジタル |
| 入力/出力ポート | | HDMI IN、DP IN*、USB 2.0 IN、 OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT (SPDIF)、 RS-232C IN/OUT、IR IN、LAN IN |
| 内蔵式バッテリー | | 適用 |
| 音声 | 入力感度 | 0.7 Vrms |
| 環境条件 | 動作温度 | 0 ° C~40 ° C |
| | 動作湿度 | 10 %~90 % |
| | 保管温度 | -10 ° C~50 ° C |
| | 保管湿度 | 5 %~90 % |
| Wi-Fi | | 内蔵 |
| センサー | | 温度センサー |
| | | 電流センサー |
| ローカルキー | | 内蔵の 8 キー |
| 電源 | 定格電圧 | AC 100~240 V、50/60 Hz、17-7.09A |
| | 消費電力 | オンモード : 1,700 W (最大) スタンバイモード (HDMI、DisplayPort) : ≤ 0.5 W |
| 寸法 (幅 x 高さ x 奥行) / 質量 | | 3004 mm x 1692 mm x 36.5 mm / 132 kg |

* DisplayPort ケーブル : DisplayPort 1.1a (SST) 標準以上の認定を受けた DisplayPort ケーブルを使用してください。

ソフトウェアの主な機能

| | | |
|------------------|--------------------------|----------|
| webOS バージョン | | webOS4.0 |
| 画像のカスタマイズ | 起動時のロゴ | X |
| | 信号なし | ○ |
| オフィス会議モード | | ○ |
| One:Quick Share | | ○ |
| 画面共有 | | ○ |
| サードパーティとの操作互換性 | Crestron Connected 対応 | ○ |
| 電源管理 | DPM | ○ |
| | オン/オフスケジュール | ○ |
| | 休日スケジュール | ○ |
| LG ConnectedCare | | ○ |
| ソフトウェアの互換性 | SuperSign CMS 対応 | ○ |
| | LG Assistant | ○ |

SuperSign ソフトウェアおよびマニュアル

- LG Electronics の Web サイトからのダウンロード。
- LG Electronics の Web サイト <http://partner.lge.com> にアクセスし、お使いのモデルに合った最新のソフトウェアとマニュアルをダウンロードしてください。

| ワイヤレスモジュール (LGSBWAC72) 仕様 | |
|--|--|
| ワイヤレス LAN (IEEE 802.11a/b/g/n/ac) | |
| 使用周波数 | 無線出力 |
| 2400 ~ 2483.5 MHz 5180 MHz, 5190 MHz, 5200 MHz, 5210 MHz, 5220 MHz, 5230 MHz, 5240 MHz, 5260MHz, 5270MHz, 5280MHz, 5290MHz, 5300MHz, 5310MHz, 5320MHz, 5500MHz, 5510MHz, 5520MHz, 5530MHz, 5540MHz, 5550MHz, 5560MHz, 5580MHz, 5590MHz, 5600MHz, 5610MHz, 5620MHz, 5630MHz, 5640MHz, 5660MHz, 5670MHz, 5680MHz, 5700MHz | 802.11a: 13 dBm 以下 802.11b: 13.5 dBm 以下 802.11g: 13.5 dBm 以下 802.11n - 2.4GHz: 13.5 dBm 以下 802.11n - 5GHz: 16.5 dBm 以下 802.11ac - 5GHz: 15.5 dBm 以下 |
| Bluetooth | |
| 使用周波数 | 無線出力 |
| 2400~2483.5 | 8.5 dBm |

- ・本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- ・この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This product is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- ・本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信事業者、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LAN を含む）に直接接続することができません。
- ・本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由して接続してください。



1. Wi-Fi

この表示のある無線機器は、2.4 GHz 帯を使用しています。変調方式としてDS-SS 方式およびOFDM 方式を採用し、与干渉距離は40 m です。

2. Bluetooth

この表示のある無線機器は、2.4 GHz 帯を使用しています。変調方式としてFH-SS 方式を採用し、与干渉距離は10 m です。

<本製品の使用上の注意事項>

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、巻末の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、カスタマーセンターにご相談ください。

HDMI/DisplayPort (PC) サポートモード

| 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) |
|-------------|-------------|------------|
| 800 x 600 | 37.879 | 60.317 |
| 1024 x 768 | 48.363 | 60 |
| 1280 x 720 | 44.772 | 59.855 |
| 1366 x 768 | 47.7 | 60 |
| 1280 x 1024 | 63.981 | 60.02 |
| 1680 x 1050 | 65.29 | 59.954 |
| 1920 x 1080 | 67.5 | 60 |
| 3840 x 2160 | 67.5 | 30 |

HDMI/DisplayPort (DTV) サポートモード

| 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) |
|----------|-------------|------------|
| 480/60p | 31.5 | 60 |
| 576/50p | 31.25 | 50 |
| 720/50p | 37.5 | 50 |
| 720/60p | 45 | 60 |
| 1080/50i | 28.1 | 50 |
| 1080/60i | 33.75 | 60 |
| 1080/50p | 56.25 | 50 |
| 1080/60p | 67.432 | 59.94 |
| 1080/60p | 67.5 | 60 |
| 2160/30p | 67.5 | 30 |

ヒント

- ・ケーブルを HDMI または DisplayPort に接続すると、PC/DTV モードをオプションで選択できます。PC に接続する場合は PC モード、その他の機器に接続する場合は DTV モードを選択することをお勧めします。DTV モードとは、PC 接続以外のすべての機器への接続を指します。
- ・垂直走査周波数：映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1 秒間で画面が切り替わる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュレート」と呼びます。単位は Hz です。
- ・水平走査周波数：水平ライン 1 本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1 秒間で表示される横線の数は、1 を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位は kHz です。

ライセンス

サポートされるライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.com/jp にアクセスしてください。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Audio、Dolby Atmos 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS 特許については、<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS ライセンスリミテッドからの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、&DTS およびシンボル、DTS 2.0 Channel、DTS 2.0+Digital Out、DTS-HD、DTS Virtual:X は登録商標は DTS, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。DTS, Inc は、すべての権利を保有します。



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、LG Electronics Inc. はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

保証とアフターサービス

修理の受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

LG Electronics Japan (株) カスタマーセンター



IP電話などからフリーダイヤルがご利用いただけない場合は TEL：03-5675-7323までご連絡ください。

お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。

利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間 9：00～18：00（年末年始および当社指定日を除く）

※上記の内容は予告なく変更される場合があります。お手数ですが、当社ホームページ（www.lg.com）をご参照ください。



製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。サポートが必要になったときのため、下記にご記入ください。

モデル

シリアル番号

この機器の電源をオンまたはオフにしたときの一時的なノイズは、正常な動作で